



堂園 晴彦 氏

堂園メディカルハウス院長（医学博士）

社会福祉法人 塔ノ原福社会 理事長

学校法人 吉井学園 理事長

多世代共同型住宅「NAGAYA TOWER」 大家

■ 錦ヶ丘保育園（全国学校・園庭ビオトープコンクール 文部大臣賞（2013年）、日本生態系協会賞（2015年））

■ NAGAYA TOWER（厚生労働白書「共生型地域づくり」モデルケース、2016年）

札幌市立大学デザイン学部特別講演会企画

「理念こそが建築・風景をつくる」

～ デザイン × 医療福祉の最前線 ～

堂園氏は、自身の経営する医院やホスピスを、「もう一度行きたくなる、ここで死にたいと思える建物」をコンセプトに、医療福祉の環境を自らデザインしてきました。また、精神的に悩む人の多さに危機感を覚え、「精神的孤独」と「社会的孤立」を防ぎ、絆再生を実現するため、2013年に若者・高齢者・障害者あらゆる人々がかつての長屋のように暮らす「NAGAYA TOWER」を建設し、大家として運営をしています。地域活動にも力を入れ、共有スペースを「こども食堂」として開放し、子どもや高齢者が交流しながら食事ができる活動を定期的にも実施しています。本企画は、行政の枠に囚われず、現代に必要な医療福祉環境を整えてきた、一人の医師の立場からデザインの果たす役割についてお話いただきます。



7月26日（木）10：40～12：10

札幌市立大学 芸術の森キャンパス 大講義室（C201 教室）

地下鉄真駒内駅より中央バス（2番のりば）「札幌市立大学前」で降車、徒歩3分

申し込み・問い合わせ先：札幌市立大学デザイン学部片山研究室（m.katayama@scu.ac.jp）